



校長室だより 2

黒部市立村椿小学校

文責：校長 寺島紀子

令和7年11月14日

第24号

今年度も児童玄関前の廊下に出島の島さんが季節の花々や風物を飾ってくださっています。いつもありがとうございます。10月末までのハロウィン飾りのあと、最近は大きな鬼柚子が登場しました。冬が近付いてきていることを感じます。

このところ黒部市内でも少しずつインフルエンザの感染が見受けられます。本校はまだ大きな流行にはなっていませんが、発熱等での欠席や早退が時折見られます。予防接種やマスクの着用は任意ですが、まずは健康の3原則：バランスのよい食事・適度な運動・十分な睡眠に気を付けていきましょう。

子供はよりよい学校生活をつくる主人公

★県東部研究集会(特別活動部会)の講演から

去る5日(水)は県東部の小学校教育課程研究集会の日でした。本校は午前中で給食なしの放課とし、全教員が各々所属する部会の研究推進校へと出張しました。私は市内外の3校を巡回する担当でした。3校目の上市町立南加積小学校(特別活動部会)にたどり着いたのは15時40分過ぎ、文部科学省の講師の先生による講演が始まったところでした。

演題は「学級や学校の生活づくりへ主体的に参画する児童を育てる特別活動」。ちょっと難しそうですが、よく考えるとこれは今年本校で掲げている「自分がつくる みんなでつくる 村椿小学校」と似ているなど、私は思いました。そこからは夢中でメモを取りました。

「子供たちが今後、自らの人生を舵取りする力を付けていけるようにするには、自分たちの社会を自分たちで変えることができるという経験が大切」「子供が主体(主人公)となって学校生活の改善に取り組めるよう、少しずつでも子供に任せること」「子供が意見を表明できる場をつくり、子供の声を社会に届ける仕組みをつくること」等々、実際の活動事例等も教えていただきました。なるほどと思えることがたくさんあり、大変勉強になりました。

★「階段や廊下の安全な使い方を考えよう!」村小児童会の取組

さて、「子供自身が学校生活の改善に取り組む」と言えば児童会活動がその中心となります。本校でも最近「廊下や階段を安全に使うにはどうすればよいか」が代表委員会の議題となりました。日頃から体育委員会の子供たちがお昼の放送やポスターで「廊下や階段は走らないで」と呼びかけているにもかかわらず、なかなかその決まりが守られていない現状があります。そのことを問題視した子供たちからの提案でした。

代表委員会本番に先がけて各教室では話し合いの場がもたれ、学級としての意見の案を考えていました。なかなか意見がまとまらないことありますが、こうした小さな積み重ねから、よりよい解決策を考えることや、違う意見の人とも折り合いを付けていくことを学んでいきます。

12日(水)の代表委員会には全学年の学級代表が参加しました。1年生の代表児童も積極的に意見を述べていました。時間はかかりましたが、最終的に「廊下を走らないで過ごせたらポイントが貯まるなど、楽しい方法を工夫して取り組んでいく」という案が採用されました。また、細かい決まりを新たに作っても結局守れなくなるのではないかと心配する意見も出され、「引き続きよりよい方法を計画委員会で考えてみて、その後全校に提案する」ということも確認されました。

自分たちで決めたことを自分たちで実行してみることで達成感が得られ、また新たな問題点も出てくることでしょう。試行錯誤しながらでも、自分たちの学校生活を自分たちの力で作っていくことができる喜びを皆に味わってほしいと思います。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております!

校長室だよりへの感想・学校へのご意見をお願いします 切 り 取 り できればお名前 or 児童名()



市教委・市教セ訪問がありました

12日(水)の午前中に、黒部市教育委員会学校教育課と黒部市教育センターから3名の先生方が本校を訪問されました。広く各教室の様子を参観されたほか、特に若手教員2名の授業(2年生、4年生)の様子を、時間をかけて参観していただきました。

「どの教室も授業が落ち着いた様子で行われていますね」「教師の説明の仕方が適切で、子供を大事にしていることがよく分かりました」「教えたことや授業のねらいがはっきりしていました」「授業の最後に『授業が楽しかった』と言う子がいたのが素晴らしかったです」などといった感想をいただきました。元気に授業に臨んでいる子供たちと先生方の姿を見ていただけて、私もほっとしました。

シリーズ「教室におじゃまします」11月4日(火)1年国語科の巻

『くじらぐも』のお話も終わりに近付いてきましたね」と石井先生が子供たちに語りかけ、「今日はみんなで音読をしましょう」と促しました。この日は教室の周りの壁際に皆がぐるりと並びます。並び順をジャンケンで決めている子たちもいました。

教科書を両手に持って皆で声を合わせました。どの子も音読が上手にできました。特に『天までとどけ 一、二、三。』のところは実際にジャンプをする勢いで読んでいるのが良かったです。

その後は席に戻りました。本文中で気になった「まっしろい」という言葉について皆で考えました。

「しろいとまっしろい、何が違うのかな？」と石井先生が投げかけると、「まっしろいはけっこう白い」「めっちゃ白い」「まっしろいの方が白い」など、子供たちからいろいろな答えが返ってきました。そのうち、「まっくろくろすけ」の話や10月の歌「まっかな秋」、また、まっぷたつまっさかさま等々、いろいろな言葉が出てきて盛り上がりしました。子供なりにいろいろな言葉を思い出し、結び付けて学習できました。

最後はノートを出して、本文を視写します。ここでは、かぎっこ(「」)の書き方や、改行の際の注意等、原稿用紙の使い方にも通じる細かい決まりを確認しました。石井先生の字がきれいで、子供たちにとって何よりのお手本です。どの子も、黒板のお手本とノートのマス目を見比べながら、慎重に、丁寧に文字を書いていきました。一生懸命学習に取り組む姿勢が素晴らしい1年生の子供たちです。



<おまけのひとりごと>ただ今(～20日)、今年度第2回の「校長杯短歌大会」の作品募集(投歌)を行っています。前回から校長室前のポストに投函した順に受け付け、歌番号を付けることにしました。というのも、これまでの大会の傾向から見て、歌番号が小さい歌の方がより賞に選ばれやすい傾向があるからです。そこで、早く応募した人を少しでも有利にしたいと思いました。このところは私、頻繁にポストの中身をチェックしております。大人の歌も募集しております。まだの方、お急ぎください。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております!

校長室だよりへの感想・学校へのご意見をお願いします 切り取り できればお名前 or 児童名()